鷲海るす壓を洋平太南・々赫勳殊

に三强力要塞

鐵壁、獨軍の戦略態勢

はたして必勝の信念を逃亡づ

劉炎は(四州四万廿キロ)の献 赤溪河江

十の兩日部來から蘇跋鸞く追攻し被帥並びに遵水南岸總兵に果敢なる

方面に進出した部隊は早くも濃水河岸に達し敵の退路を遮。質綱第六師、第九十八師に對し殲滅的打撃を続くつくめることに

湖

はずでに赤統領(優水領西北市の力が構築部では近中の力が構築部では近中の力が構築部で

堤防を破壊

敗敵に巨

弾の

し職場で自由にお見る 自張的に臨んでこの。

光外相、大東弘五原則を語る

羅任

脱びつくあるが、泥だらはの明し

**トルにも及ぶため

動加速も追及が** 

近の記典を飛び反感の煙を狙び、果桝頭を削れ省北部に一気に纏然を揺回すべく平和陽解 機の大編隊をもつて大脚の下に渡い屋線に終めをきる 日午前〇時〇〇分〇〇

基地を原配し損然及び死傷を出した間中 【リスポン十日同批】ニューデリー死絶

東田

發敵

歸國

きまして一旦関係より経験はこの

間方面ノ戦局へ益多端ヲ加フ 汝等愈奮勵努力隊航空部隊ハ今次『ウロモン』海域ニ於テ勇戰終

**駒努力 ・以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨテ勇敗省闘大ニ敵艦隊ヲ撃破セリー・朕深ク之ヲ嘉ス** 

大本營發表

東京館門 東光州 は十一日午 重光外相參內

製本門が 题 自由 原京電

中に約五百の敵を發見、敵の到

田様を舞り塞れんとする敵に機一定射撃を潜り統論下艦隊を加へ

陸鷲長陽を奇襲浦爆

- トルの外の田語理館を巡え配す三面の本域技術(建国西南甘四キロ)を命襲、軍事施粛を爆

伸し淡水中流の敵航空

米首腦小田原評定

敗戦にノックスしどろもどろ

肯定せず、否定せず

貴官は現在の海空戦を

米海軍煙幕發表

驅艦三隻は沈没

るかのだて如

来頭の

がに間端を整理を

中

型血

るチ





原因を明にした 今津博士の素晴しい研究 神經痛



**E**]



ーリング空相等、必勝を確言

われに倫理的精解的基調

社會式構業產學化物甘

京東・阪大 社藥新外內 元明發遊製

## 人戦果に 鄭徒 闘魂爆發

發

歳南學徒の決意

イ子供水小さな間と米定鑑数。と感激を呼んであるが九日規在空心でかうと形内祭町側匝夢稜(は○○墨校へ踏みと志願世障趣側里置置)記見さん途に適いて の船を燃やして少年航空塵接へ減して

空に陸に學童も蹶起

待つは、この

【城津電路】年間山河を落するう 宮本君出陣の抱負を語る

賞金をそつくり

残る州名も期限内には志願

発売に殴って

分館の対論訓練が手が話し音日曜三清町東部が手が話し音

明が、九日現在劉格者三百五十名 「福西」就北出身基準の志願は相

咸北の出陣

▲湍津一八▲明川一七▲羅南一

版のため「軍場の 度哲學

【黄州】いる出版のかけ響と應じ、寺郷と海崎、五千餘の地方教養師に、一葉田金光、両君も 一類を海崎、五千餘の地方教養師に

學徒志願の祈禱や講演

全鮮の宗教團が士氣昂揚運動

學徒よ意氣で起て

▲松川泉(城內)

所然。如縣人科聯院申山

南親の感激

拓け世界を學徒よ起て

がかり、一点をした。 選生の心 がれば節 表場即 期 作 展企会企美金池企口都要至去事品 加









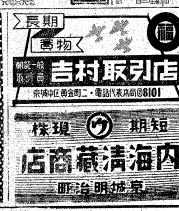
多道

商

(49)

呆 況





水で説

源 宣告